

2013年6月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部

目次

自由*空間	「川は命の源」「生きがいを見つけたかも？」 P 2
ご存知ですか	「特定外来生物!？」 P 2
私のおすすめ	『祭りの場』『新しい靴を買わなくちゃ』 『精霊の守り人』 P 3 P 3
図書館からのお知らせ	 P 4

文部科学省より子どもの読書活動優秀実践団体の表彰を受けて
つくし文庫 谷本 美由貴

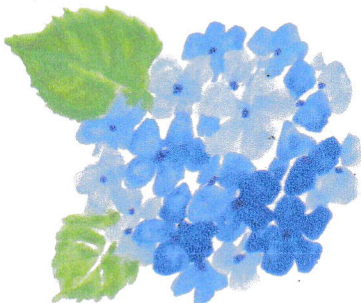
一九八七年四月箱作住民センターで、本と子どもを結び場として産声を上げたつくし文庫は、地域の方々に支えられ二七年目をむかえました。現在のつくし文庫は①住民センターでの活動と②本を持参して地域へ出向く出前文庫の活動を行っています。①では下荘校区福祉委員会による「すくすく塾」(親も子ども安心して集い遊べる憩いの場)と協働の活動です。より多くの子どもたちの参加を促す様に、色々な企画・講師依頼・お知らせ作成や配布等、福祉委員の方々が汗を流してくださっています。つくし文庫はお話の語りや読み聞かせ、本の貸し出しはもちろん、当日のテーマに沿った作品の紹介・声掛けをして本を一

緒に探したり、赤ちゃん子どもたちそして周囲のおとなと本を繋ぐ手助けをします。多種多様な作品との出会いと同時に、心の奥底に残る、深い感銘を受け一冊との出会いの場でありたいと考えています。②はより多くの人たちに、絵本や読み本の良さを楽しさを知ってもらいたい・読み聞かせの心地よさを体感してもらおうとの思いから始まりました。お話の語りと読み聞かせの会を、地域の保育所・小学校・チッコホームで開き、子育て支援センターでは、絵本講座を図書館より資料提供を受けて行っておりま

す。街角で、顔見知りになった子どもたちが親しみをこめて声をかけてくれます。同じ作品の楽しさや、世界を共有した連帯感が伝わってきます。また出前文庫で絵本の素晴らしさを知った方が、つくし文庫へ来てくださり本を借りていけます。利用者のすそ野が広がりました。

つくし文庫は、下荘校区福祉委員の方々を初め支えてくださった仲間たち・出前文庫を受け入れてくださる皆様のおかげで続けてこれま

しました。本当に有難うございました。このたびの表彰に恥じない様今後、地域のみんなに絵本の楽しさ、読書のおもしろさを伝え、子どもたちの知る喜び理解する充実感、自ら考え行動する生きる力を育む手助けとなれます様、仲間と共につくし文庫を続けてゆこうと思えます。



仕事を辞めて自由な時間ができ「さあ、これからスポーツクラブに入って運動でもしようか」と意気込みはあったのですが、自分から参加の申し込みに行くのが煩わしく時間が過ぎるだけでした。暇にまかせ時々自宅周辺を散策していると、生まれた土地なのに「この建物は何だったのか、この石碑は何だろう。」と疑問が湧き、これまで仕事にかまけて地元にも関わってこなかったのを感じながら、この年齢になって初めて市立図書館に足を運び、郷土史を読み歴史に少しの関心をもちました。

そんなときに阪南市の広報誌に「まち案内ボランティア講座」の募集案内があり、応募して講座を受ける事にしました。講座は実地勉強会や座学があり、地元散策会では阪南市の海側（田山稲荷）に遊来（ゆうらい）の滝があることや、又阪南市にも古い歴史があることを知り、更に興味をもちました。

講座終了後も「まち案内ボランティア」として残り、月に一度の勉強会にも参加する中で「案内箇所を調査し資料化する」ことになり、案内箇所を

自由*空間

男里川は、山のせせらぎから

始まりいくつかの支流を持ち、一部はダムを通して下流になり、海に注ぐという素晴らしい環境を持っています。過去には大雨でダムが決壊し、水害が起るといふ不幸な出来事がありました。その時の鎮魂碑が鳥取

ダムにあります。

阪南市に転居後ボランティア活動を通して、男里川の生物の豊富さに感動した事を思い出します。ゴミや有害な排水や化学薬品の流入で川を汚せば、川の植物や水生生物が汚染され、ひいては人間が汚染される

図書館で十分に調べをし、また現地での聞き取り調査を実施し、文章にして資料化する作業に加わりました。実際自分が案内箇所を調べると、地元の人から資料の提供を受けたり、その場所へ案内もしてくれ、更に勉強をすると共に人の繋がりの大切さを感じたりすることもありました。

歴史を調べると段々分野が広がり、疑問を図書館で一つ一つ解決し習得していくのが楽しみであり、自分自身の成長であり、社会との繋がりが大切であることを感じています。今、図書館は私の大切なパートナーになりました。

大西 善晴



《ご存知ですか》 特定外来生物！？

この季節に鮮やかな黄色の花を多く見かけませんか。桃の木台の斜面にも群生しています。時々花壇や庭でも見かけたりします。花の名は「オオキンケイギク」。北米原産で特定外来生物に指定されています。始めは緑化の為に法面（のりめん）に植えられたものが拡がりすぎて、在来の草花を駆逐し、景観も変化していきます。生態系に影響するので、庭や花壇への持ち込みが

禁じられています。違反すれば、個人で最高懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金とか。美しいからと勝手な行動が、とんでもない事になりかねません。身近な花も絶滅危惧種だったり、「オオキンケイギク」のように特定外来生物だったりします。よく知って自然を楽しみたいものです。

黒田 萬知子

負の循環が起きてしまっています。万物の命を守る事は一滴の水を守ることでですね。素晴らしい生態系を備えている男里川をこれからも守っていきましょう。

宮本 克子

『祭りの場』は長崎への原爆投下直後のむごたらしさを克明に描いた作品です。主人公は女学生で学徒動員に行っていた兵器工場内で被爆します。この工場では大勢の人が一瞬で亡くなったり大怪我をしたが、主人公は外傷を負うことなく奇跡的に助かります。

「何かあったら学校に集合」と決まっていたので、ようやく学校にたどりつく。他の学生は誰も帰ってこなかったり、工場では探しきた家族が見つげやすいようにと、男子学生が遺体を並べていたり、「無傷の人は、訳のわからないことを言いながら気が触れて死んでし

まう」と聞かされたりなど、強烈な表現が続き印象に残ります。林京子は、長崎高女三年の時に被爆した体験をもとにして、原爆投下から三十年後の一九七五年に『祭りの場』を発表、その年の芥川賞を受賞しています。

西 令子

私のおすすめ



旅というのは、どんな事が起きるかわかりません。だからこそ、夢があり、ロマンがあるのだと思えます。セン(兄)、スズメ(妹)の兄妹は、フランスに旅行します。途中から別行動をする二人は、それぞれに目的を果たしたり、旅先での出会いもありました。色々なトラブルがありながらも旅を楽しんでいて、普段から忙しいすぎて旅行に行けない方々や、リラックスするような時間もなかなか無い方々も、自分がフランスに行った事がなくても楽しめる。そんなホッとできるような一冊

になりました。映画では、兄役はゲゲゲの女房などで有名な向井理さんです。妹役はモデルで有名な桐谷美玲さんです。映画を観てないという方でも楽しめる本です。改めて手にとって読んでみてはいかがでしょうか。

H・K

《児童書》

『精霊の守り人』 他10巻 まで刊行

上橋 菜穂子 / 著 偕成社 K913ウ

永く「ゲド戦記」を越える本に巡り合えずにいたが、再び！それがこのシリーズである。王位争いの陰謀により、父を殺された幼いバルサが父の親友で短槍使いの名人ジグロに連れられて逃亡の旅を続ける。やがて女槍剣使いに成長したバルサが、旅の途中で他国の皇子チャグムの命を救う場面から、物語は始まる。チャグムも又、父王の密偵から命

を狙われる身。この二人が絡み合って物語が進行していく。時代や舞台はともかく、著者の文化人類学者としての力量が随所に発揮され、その場に立ち合っている気分になっている自分がいた。

本を貸してくれた友人はチャグムファンと言うが、私はバルサ様命♡久しぶりにトキメキ、読み直し中である。

森川 昌子

図書館フレンズ活動報告

昨年度の集計ができました。配架に1438名、書庫入れ作業に426名、修理・装備・清拭に404名、館内装飾に33名、リサイクル関連に108名、広報関連に54名ものご参加をいただき、年間の延べ参加人数が2463名にもなりました。登録者は82名ですので、お1人平均30日来てくださったこととなります。図書館フレンズの皆様がボランティアで多岐にわたって図書館をサポートしてくださっているおかげで、阪南市立図書館は円滑に回っております。これからもどうぞよろしくお願いたします。また、新規に図書館フレンズでボランティアしてみようかな、という方はどうぞカウンターにお申し出ください。随時ご登録いただけます。

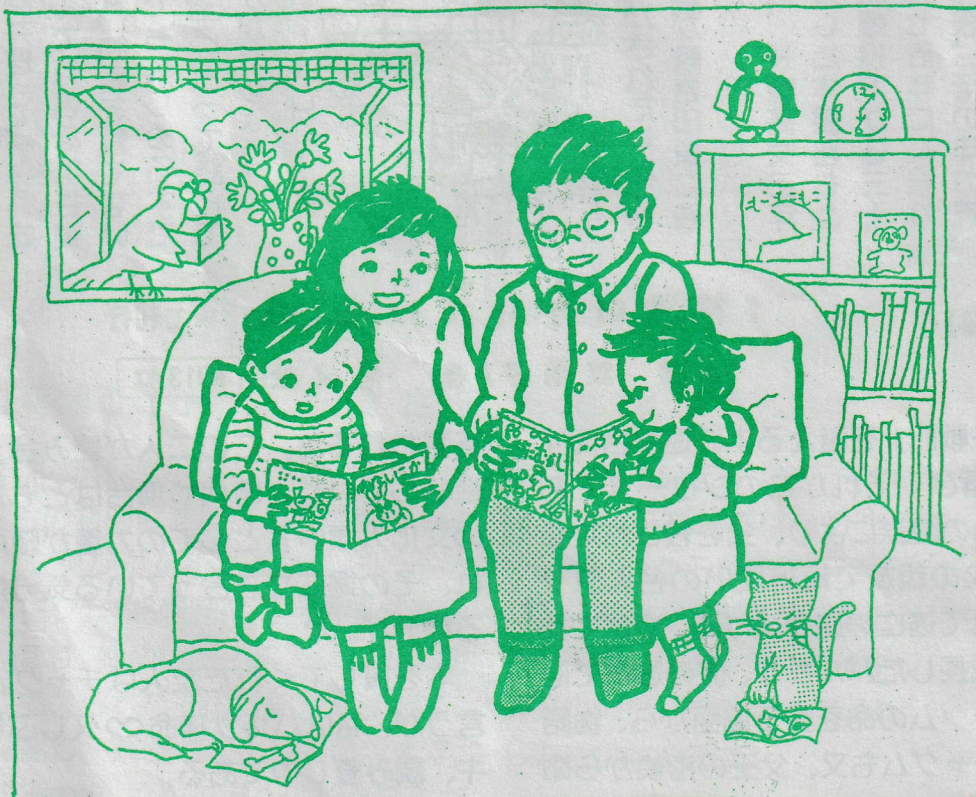
年度	総計	登録者数
2003年度	155名	20名
2004年度	682名	28名
2005年度	652名	33名
2006年度	1000名	36名
2007年度	1369名	48名
2008年度	1540名	61名
2009年度	2444名	75名
2010年度	2541名	75名
2011年度	2440名	82名
2012年度	2463名	82名

図書館フレンズ 2012年度活動日数集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
朝の配架	127名	113名	113名	105名	92名	100名	113名	104名	116名	99名	87名	113名	1282名
月末整理日	17名	10名	16名	14名	16名	15名	13名	14名	0名	17名	8名	16名	156名
配架人数計	144名	123名	129名	119名	108名	115名	126名	118名	116名	116名	95名	129名	1438名
書庫入れ作業	42名	42名	45名	35名	32名	35名	32名	35名	27名	32名	26名	43名	426名
修理・装備人数計	37名	30名	35名	37名	31名	28名	44名	32名	34名	34名	28名	34名	404名
修理冊数	180冊	119冊	231冊	203冊	256冊	218冊	270冊	200冊	207冊	200冊	101冊	141冊	2326冊
本の清拭冊数	61冊	524冊	526冊	679冊	200冊	33冊	80冊	304冊	125冊	130冊	302冊	690冊	3654冊
装備冊数	221冊	64冊	44冊	90冊	70冊	71冊	140冊	77冊	123冊	106冊	28冊	107冊	1141冊
館内装飾人数計	2名	3名	3名	3名	3名	3名	2名	2名	3名	3名	3名	3名	33名
リサイクル人数計	2名	4名	37名	2名	2名	4名	3名	7名	0名	11名	32名	4名	108名
広報人数計	0名	6名	12名	0名	0名	12名	6名	0名	0名	6名	12名	0名	54名
総計	227名	208名	261名	196名	176名	197名	213名	194名	180名	202名	196名	213名	2463名

2012年度 総計(延べ人数) 2,463名

毎月23日は「家庭読書の日」



＊ゆりえ＊

「阪南市子ども読書活動推進計画」表紙絵より

「家庭読書の日」スタンプのこと、知ってる?集めると景品がもらえます。
くわしくは図書館カウンターにて。